

---

## モータースポーツチームのIWCレーシングが グッドウッドに復帰するにあたり、 IWC シャフハウゼンとホットウィール™ が リミテッドエディション「レーシングワークス」セットを発表

---

シャフハウゼン、2021年10月16日 - IWC シャフハウゼンとホットウィール™ は、第78回グッドウッド・メンバーズ・ミーティングの機会に、「IWC × ホットウィール™ レーシングワークス」コレクターセットを発表し、グッドウッドへの復帰を祝うことになりました。同時に、このブランドのモータースポーツチーム、IWCレーシングは、明日のスターリング・モス・トロフィーに向けてグリッドに並ぶことになっています。名高いメルセデス・ベンツ300 SL「ガルウイング」のステアリングを握るのは、オーストリア人レーシングドライバー、ラウラ・クライハマーです。IWC × ホットウィール™ 「レーシングワークス」コレクターセットは、パイロット・ウォッチ・クロノグラフ「IWC × ホットウィール™ レーシングワークス」エディションとホットウィール・メルセデス・ベンツ300 SL「レーシングワークス・エディション」を組み合わせたもので、金属製ツールボックスに収められ、50セットだけ限定生産されます。1個目のセットは、国際的なオークション会社ボナムズによってオンラインでオークションにかけられ、その収益はツービット・サーカス基金に寄付されます。同基金は、子供たち向けに学習体験をつくり出すことで、起業家精神を吹き込み、若い投資家を勇気づけ、環境管理を浸透させている非営利組織です。

メンバーズ・ミーティングでは、クラシックなティントップやGTから、モーターサイクルやオープンホイールのF3™、F1™マシンまで、信じられないほど多様なレーシングマシンが名高いグッドウッド・サーキットに勢ぞろいします。今週末にイギリス南部で開催される第78回グッドウッド・メンバーズ・ミーティングは、予選、レース、高速デモンストレーション、お祭り騒ぎが盛りだくさんで、興奮さめやらぬ2日間となること間違いありません。IWCレーシングチームは、短期間でしたが永遠かとも思われた中断を経て、伝説のグッドウッド・サーキットに復帰することになりました。このチームが最後にグッドウッドに姿を見せ、F1™の生きる伝説デビッド・クルサードがトニー・ゲイズ・トロフィーで優勝したのは、ちょうど20カ月前の2019年4月のことでした。今年、メルセデス・ベンツ300 SL「ガルウイング」のコックピットに座ることになるのは、オーストリア人レーシングドライバー、ラウラ・クライハマーです。新たにIWCレーシングの一員に加わったクライハマーは、明日土曜、スターリング・モス・トロフィーをかけて競う予定です。

ディテールへのこだわり。揺るぎない卓越性の約束。国境を越え、期待も越えるという意志。IWC シャフハウゼンとホット

ウィールは、こうした共通の価値観によって結ばれており、この2つのブランドはパフォーマンスとデザインの限界を追求することで周知されています。どちらも、それぞれの分野で伝説的な存在となっています。

ホットウィールが自動車および玩具産業で伝説的な地位（デザインは2万件、販売個数80億台を越えるミニカーの世界的ベストセラー）を築く前に、スタートラインとなったのは、1つの夢でした。1968年、南カリフォルニアでマテル社の共同創業者エリオット・ハンドラーが第1世代ホットウィールをつくったとき、彼は当時のモデルカーよりも格好がよく、性能も優れたミニカーをつくりたいと考えました。このビジョンを叶えるため、GMの自動車デザイナーと有能なロケット科学者の協力を求めました。そして力をあわせ、デトロイトの自動車スタイリングと宇宙時代のデザインのヒントを組み合わせ、目のさめるようなスペクトラフレーム™ 塗装仕上げと高速「レッドライン」ホイールを用いて、独創的なホットウィール「オリジナル16」をつくりました。現在、ホットウィールは自動車文化の世界的な発信源として、世界中のあらゆる年齢層の自動車ファン、レーサー、ビルダー、デザイナーを結びつけています。

IWCの伝統は、ホットウィールと同様、アメリカのパイオニア精神と起業家精神に深く根ざしています。エリオット・ハンドラーがホットウィールを発売した年のちょうど100年前にあたる1868年、アメリカの時計技師兼エンジニアだったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズは、シャフハウゼンにインターナショナル・ウォッチ・カンパニーを設立し、当時の時計産業に革命を巻き起こしました。ジョーンズは、スイスの時計技師の優れたスキルと最新のアメリカの製造技術を組み合わせることで、米国市場向けに高品質の懐中時計ムーブメントをつくりました。飛行・航海向けの信頼性の高い頑丈な計器時計を製造するというブランドの伝統に基づき、IWCは自動車デザインおよびモータースポーツの世界と親密な関係にあり続けてきました。メルセデスAMGやメルセデスAMGペトロナスF1チームとのパートナーシップから、GTおよびクラシックカーレースへの支援まで、IWCはモータースポーツの多くの分野と密接に関わっています。2018年、このスイスの高級時計メーカーは、独自のレーシングチームとしてIWCレーシングを設立し、それ以来、このチームは伝説の1955メルセデス・ベンツ300 SL「ガルウイング」も投入し、多様なクラシックカーレースに出場しています。

IWCシャフハウゼンのCEO、クリストフ・グランジェ・ヘアはこう言います。「ホットウィールのデザイナー、マンソン・チャンと出会えたことは幸運で、私たちのパートナーシップに弾みがつきました。私たちが自動車デザインと機械式時計への情熱を共有していたことから、エルセグンドにあるマテル社のデザインセンターで両方のブランドのデザインチームが会うことになりました。デザイン、芸術、エンジニアリングの話で、すぐに意気投合しました。このコラボレーションと、これまで実現してきたユニークなプロジェクトについて、誇りに思っています。」

最初の共同プロジェクトは、IWCレーシング300 SLとこのレーシングチームのトランスポーターを組み合わせ、2020年のプレミアム・ホットウィールチーム・トランスポート・セットの発売でした。次に発売したのは、ホットウィール・メルセデス・ベンツ300 SLのIWC専用バージョンで、これは最近入手可能になりました。そして今、IWCとホットウィールは、シャフハウゼンとエルセグンドで生まれた2つの他に類を見ない逸品を組み合わせ、厳密に50セットしか製造されないエクスクルーシブなリミテッドエディション「IWC×ホットウィール™レーシングワークス」コレクターセットをつくりました。

マテルの最高デザイン責任者、クリス・ダウンはこう言います。「IWCシャフハウゼンとホットウィールは、時代に左右されない豊かな歴史を共有しており、どちらも比類ないディテールへのこだわりと非常に小さなスケールでの職人技を通じて、羨望的となる製品を手がけています。このパートナーシップは、私たちのチームが共有する創造性と協力精神の賜物です。こう

して、高級時計、レーシング、自動車文化を愛する、真に目の肥えた人々から高い評価が得られるような、比類ないパッケージが生まれました。」

パイロット・ウォッチ・クロノグラフ「IWC×ホットウィール™レーシングワークス」エディション (Ref. IW377904) の43 mmケースは、グレード5のチタニウム製です。この金属は、ホットウィールとIWCのデザインチームのお気に入りの「工学材料」として選ばれました。スチールよりも軽くて硬く、非常に耐腐食性があり、自動車工学でもよく用いられています。ダークグレーのマットカラーは、ケースの各パーツを研磨してからサンドブラスト加工するという、入念な表面処理によって得られたものです。ケース側面の9時位置には、圧倒的なエンゲレーヴィングでホットウィールの炎のロゴが刻まれています。ブラックの文字盤のクロノグラフ積算計の周囲には、チェッカーフラッグの繊細な模様があしらわれています。このレーザーで刻まれた各四角形の部分は、光の射し込む角度によって明暗が交互になり、視覚的な深みと凹凸のある見た目が文字盤に備わります。クロノグラフを駆動するのは、IWC自社製ムーブメント、キャリバー 69385で、スモークガラスのケースバック越しに眺めることができます。時計に組み合わせられるシルバーとブラックの1ピース構造の布製ストラップは、IWCレーシング・メルセデス・ベンツ300 SLのカラースキームを反映しています。

このセットには、ホットウィール・メルセデス・ベンツ300 SL「レーシングワークス・エディション」も含まれます。このエクスクルーシブなホットウィールモデルは、スティーヴ・ヴァンダーヴェートとIWCのデザイナーであるニコラス・シュミットによるグラフィックスを用いて、ホットウィールのデザインチームによってつくられ、マンソン・チャンによって彫り込まれ、細部が仕上げられました。今までにつくられた中で最も精巧な1:64ホットウィールモデルです。ホットウィールの試作ワークショップにおいて、専用に50台だけが製造されました。開くガルウイングドアをはじめ、バケットシートやロールケージ、レッドのシルトリムまで忠実に再現されたインテリア、明るいヘッドライトやスリーポイント・スターなどの細かいエクステリアのディテールが備わり、レーシンググラフィックスをまとっています。わずか50セット限定生産なので、このミニカーも、今までに発表された中でも指折りのレアな公式ホットウィールモデルとなります。

パイロット・ウォッチ・クロノグラフ「IWC×ホットウィール™レーシングワークス」エディションとホットウィール・メルセデス・ベンツ300 SL「レーシングワークス・エディション」には、どちらも68という数字が添えられています。IWCが設立された1868年と、ホットウィールが発売された1968年への密かな目くばせです。さらに、このクロノグラフとモデルカーはシル

バーとブラックの金属製ツールボックスに収められ、この特注パッケージによって、いっそうエクスクルーシブなセットとなっています。このケースには、時計の取扱説明書、プロジェクトについての小冊子、該当するセット番号入りの制限プレートも付属しています。

## 1セットはチャリティーオークションに出品

セットNo. 1はボナムズによってチャリティーオークションにかけられます。今日から10月22日まで、オンラインでの入札が可能です。オークションの収益はツービット・サーカス基金に寄付されます。この基金は、あらゆる経済状況に置かれた子供たち向けに学習体験をつくり出すことで、起業家精神を吹き込み、若い投資家を勇気づけ、環境管理を浸透させるためのものです。このために、たとえば科学、技術、工学、芸術、数学（STEAM）の統合学習を促すメーカースペースが活用されています。こうしたスペースは、もともと他の用途向けのものが転用されることが多く、各種ツールも備わっています。その他、この基金は、子供向けワークショップやイベント、社会見学、サマーキャンプなどの活動も行っています。

オークションは10月16日、[www.bonhams.com/auction/27446](http://www.bonhams.com/auction/27446)にて開催されます。

このセットを発表するために、IWCのCEOであるクリストフ・グランジェ・ヘアと、マテルの最高デザイン責任者であるクリス・ダウンは、バーチャルな手段で連絡を取りました。この2人は、双方のブランドを結びつける共通の価値観や、コラボレーションの動機について意見を交わしました。さらに、ウェブ放送への特別ゲストとして、スコットランド出身の伝説的なフォーミュラ・ワン™のレーシングドライバー、デビッド・クルサードが招かれ、300 SLのステアリングを握ったときの体験や感想を語ってくれました。クルサードは、2019年の第77回グッドウッド・メンバーズ・ミーティングにおけるトニー・ゲイズ・トロフィーで、IWCレーシングチームに1位をもたらしました。

ウェブ放送は<https://watches.iwc.com/mattel>をご覧ください。

「IWC × ホットウィール™ レーシングワークス」セットに関してご不明の点がございましたら、[concierge@iwc.com](mailto:concierge@iwc.com)までお問い合わせください。

## マテル

マテルは世界をリードする玩具メーカーで、子供と家族向けエンターテインメントの分野で世界屈指のフランチャイズを展開しています。遊びを通じて子供を鼓舞し、楽しませ、成長させるような画期的な製品と体験を生み出すマテルは、あこがれの的となっているバービー®、ホットウィール®、フィッシャープライス®、アメリカンガール®、きかんしゃトーマス®、UNO®、MEGA®などの一連のブランドによって子供たちを魅了しており、その他の人気ある知的財産についても所有するか、または世界的なエンターテインメント会社と提携して使用権を認められています。マテルは、映画やテレビのコンテンツ、ゲーム、音楽、ライブイベントなども提供しています。世界35箇所に営業拠点があり、世界有数の小売り・電子商取引企業と提携することで、150カ国以上で製品を販売しています。1945年の創業以来、マテルは子供の不思議を探究し、子供の潜在能力を最大限に引き出すパートナーとして信頼されていることを誇りに思っています。

## ホットウィール

53年の歴史があり、従来にもまして今日的な意義を有するブランドであるホットウィールは、世界をリードするミニカーのフランチャイズとして、その玩具は世界で最も売れています。このブランドは、没入型ライブイベント、非常に人気の高いデジタルゲーム、No. 1の男の子向け玩具のYouTubeチャンネル、強力なパートナーシップ、コラボレーション、消費者製品によってファンを魅了しています。

## ボナムズ

1793年に設立されたボナムズは、世界屈指の規模と知名度を誇るオークション事業者として、美術品、骨董品、自動車、宝石などを取り扱っています。主要な競売場はロンドン、ニューヨーク、ロサンゼルス、香港にありますが、ナイツブリッジ、エディンバラ、パリ、サンフランシスコ、シドニーでもオークションを開催しています。世界22カ国にオフィスと地域代理店のネットワークを擁するボナムズは、60の専門分野でアドバイスと査定サービスを提供しています。今後のオークションの完全なリストとボナムズの専門分野の詳細については、[bonhams.com](http://bonhams.com)をご覧ください。

パイロット・ウォッチ・クロノグラフ  
「IWC × ホットウィール™ レーシングワークス」エディション

REF. IW377904

特徴

機械式ムーブメント、時・分・秒のクロノグラフ機能、日付と曜日の表示、秒停止機構、気圧降下による変形に耐えられるガラス、サファイアガラス製ケースバック

ムーブメント

IWC自社製キャリバー	69385
振動数	28,800回/時 (4 Hz)
石数	33
パワーリザーブ	46時間
巻き上げ	自動巻き

時計

素材	チタニウムケース、装飾パターン入りのブラックの文字盤、ブラックの針、ブラックとシルバーの布製ストラップ
ガラス	両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス
防水性	6気圧
直径	43 mm
厚さ	14.9 mm

## IWC シャフハウゼン

1868年、米国の時計技師であり、起業家でもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズはボストンからスイスへ渡り、シャフハウゼンに「インターナショナル・ウォッチ・カンパニー」を設立しました。彼が描いた夢は、先進的な米国の製造方法とスイスの時計技師たちが持つ優れた職人技を組み合わせ、その時代の最高の懐中時計を作ることでした。そして彼はIWCの独創的なエンジニアリング手法の基礎を築き上げ、スイスの地で機械式時計の集中生産を確立しました。

IWC シャフハウゼンは150年にわたる歴史の中で、正確かつ頑丈で、顧客にとって使いやすいクロノグラフやカレンダーなどの機能を組み合わせた時計を生み出すことで高い名声を得てきました。またIWCは、チタンやセラミックなどの素材の先駆者であり、チタンアルミやセラタニウム®などの先進的な素材を用いたテクニカルウォッチケースの製造もおこなっています。華やかな装飾よりも「形態は機能に従う」という原則を優先するスイス時計メーカーとして、時代を超越した製品への思いは、まさに人生を旅するオーナーたちの夢と志を体現しています。

IWCは、責任を持って素材を調達し、環境への影響を最小限に抑える措置を講じながら、何世代にもわたり受け継がれる持続可能な時計を生み出しています。また、すべての従業員に快適な職場環境を提供し、誇りをもって未来を担う時計職人とエンジニアたちへのトレーニングを実施しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

## ダウンロード

「IWC×ホットウィール™ レーシングワークス」セットの画像は、[press.iwc.com](http://press.iwc.com)で無料でダウンロードいただけます。

## お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email [press-iwc@iwc.com](mailto:press-iwc@iwc.com)

Website [press.iwc.com](http://press.iwc.com)

## インターネットおよびソーシャルメディア

Website [iwc.com/ja](http://iwc.com/ja)

Facebook [facebook.com/IWCWatches](https://facebook.com/IWCWatches)

YouTube [youtube.com/iwcwatches](https://youtube.com/iwcwatches)

Twitter [twitter.com/iwc](https://twitter.com/iwc)

LinkedIn [linkedin.com/company/iwc-schaffhausen](https://linkedin.com/company/iwc-schaffhausen)

Instagram [instagram.com/iwcwatches\\_jp](https://instagram.com/iwcwatches_jp)

Pinterest [pinterest.com/iwcwatches](https://pinterest.com/iwcwatches)